

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	①今後は更に職員個々の経験年数や研修受講状況に応じて、研修内容を検討すると共に、職員一人一人と個別の話し合いも行いながらケアの質の均一化を図っていけたらと考えている。 ②役職者(管理者)の異動もあり、業務内容の引継ぎ書等の作成を行っていく予定である。	経験年数のある職員が技術や知識などを新しい職員に教えて、研修なども受講した職員がミーティングの場で説明行い情報を共有しケアの均一化を図っていく。また業務の引継ぎなども書面に残し振り返り確認が行えるようにする。	経験年数のある職員に新しい職員に付けて技術を教えるようにする。また職員にも聞き取り行い得意や不得意を確認し成長を促していく。研修や引継ぎの業務も説明も行き、書面や資料を作成するなどして振り返りの確認を行えるように努めていく。	12 ヶ月
2	28	①今後もアセスメント用紙に心身(ADL等)の能力と「できそうなこと」等を記録し、短期目標に繋げると共に、リハビリ職からアドバイスをもらい、日々のリハビリや体操等に繋げていく予定である。 ②アセスメント内容と計画(2表と3表)の整合性を取るよう努め、家族との話し合いに活かしていく予定である。	定期的に利用者のアセスメントし残存機能を見直しながら、日常的にリハビリを行えるようなことがないかなどリハ職に相談していく。ご家族ともご利用者の様子を報告し話し合いケアプランを作成行うようにする。	ご利用者担当の職員がアセスメントしてケアマネや管理者、リハ職に相談して日常的に行えるようなリハビリを検討する。ご利用者の様子も把握し職員全体で情報共有できるように担当職員が発信していく。またその情報をご家族にお伝えし話し合いながらケアプランを作成していく。	12 ヶ月
3	51	今後もご入居者の馴染みの場所を把握しながら外出やドライブの回数を増やし、ご入居者の気分転換を図っていきたいと考えている。	ご利用者の生活歴や普段の様子や会話から好きな場所や好きなものを把握し、それに則した外出を行っていく。また施設内での生活が主なので散歩にいくなどしてご利用者の気分転換を図れるようにする。	ご家族が近くにお住まいのご利用者もおられるので可能な時はご家族に会いにいくなど散歩にいくようにする。また近くに公園や神社などにも散歩にいき気分転換を図れるように努めていく。外出もドライブを計画し少し遠出できるように努めていく。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間